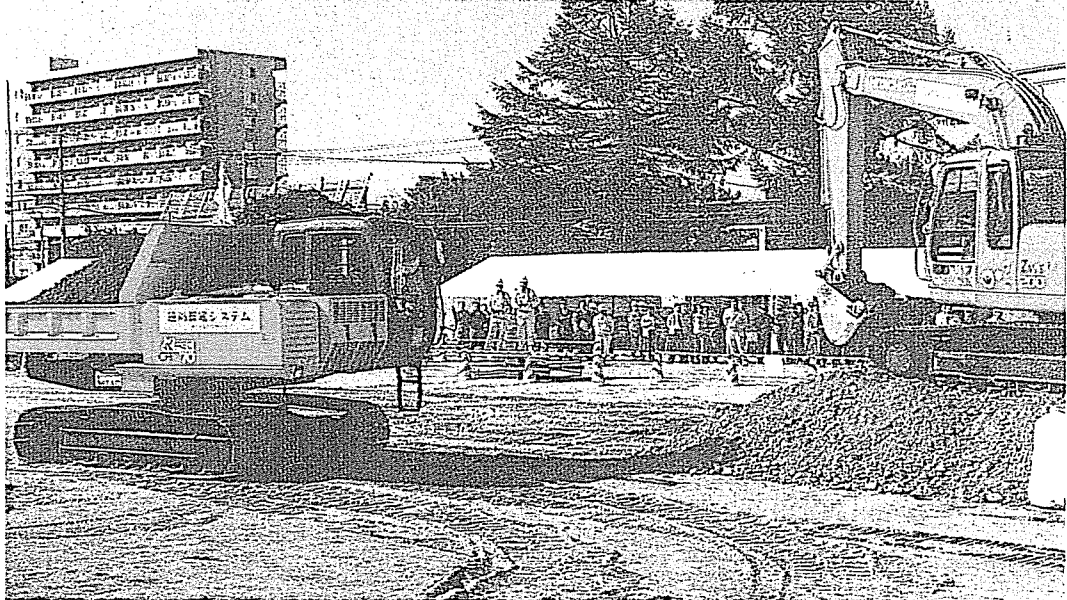


2006年(平成18年)9月27日(水曜日)

災害現場での活用が期待される無人の重機実演



「帯広で震度5強」想定し訓練

遠隔操作の 重機実演も

宮坂建設工業

十勝沖地震から丸三年となった二十六日、帯広の宮坂建設工業(宮坂寿文社長)が帯広で震度5強の地震が発生した想定で防災訓練を行った。河川や建物の緊急パトロールを行い、自社の簡易無線局を活用して報告を上げる訓練などを行った。同社は自社で手掛けた公共建築物や建築現場、管理委託を受けている河川などの防災のため、地震が起きた場合の集合場所など独自のマニュアル

を整備しており、十勝沖地震の発生時も現場に駆けつけて復旧作業に当たった。訓練は昨年から行っている。

この日は災害が発生した想定の後一時半に同社内に宮坂社長を本部長とする災害対策本部を設置し、十二分後にはパト

ロール担当の社員が所定の場所に集合。本部では、社員が緊張した表情で札幌支店とテレビ会議で連絡を取り合いながら無線で報告を受けた。

帯広市中央公園では同社が導入する予定の遠隔操作できる重機の作業も実演した。(森麻子)